



# 令和7年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和7年2月13日

上場会社名 フジプレアム株式会社  
コード番号 4237 URL <https://www.fujipream.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本倫長

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 IR・広報部長 (氏名) 三浦理路

TEL 079-266-6161

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和7年3月期第3四半期の連結業績(令和6年4月1日～令和6年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期第3四半期	8,366	17.9	71	89.2	98	86.1	184	62.7
6年3月期第3四半期	10,188	19.2	667	9.4	712	5.5	495	9.1

(注)包括利益 7年3月期第3四半期 168百万円 (67.4%) 6年3月期第3四半期 517百万円 (5.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年3月期第3四半期	6.46	
6年3月期第3四半期	17.33	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
7年3月期第3四半期	16,643	9,945	59.8
6年3月期	18,436	9,993	53.5

(参考)自己資本 7年3月期第3四半期 9,945百万円 6年3月期 9,870百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年3月期		0.00		6.00	6.00
7年3月期		0.00			
7年3月期(予想)				6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和7年3月期の連結業績予想(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,621	19.8	238	65.3	267	64.0	315	45.1	11.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	7年3月期3Q	29,786,400 株	6年3月期	29,786,400 株
期末自己株式数	7年3月期3Q	1,211,561 株	6年3月期	1,211,561 株
期中平均株式数(四半期累計)	7年3月期3Q	28,574,839 株	6年3月期3Q	28,574,839 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、[添付資料] 3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や所得環境の改善等により、全体としては緩やかな景気回復となりました。一方で世界経済においては、不安定な国際情勢や為替相場の変動のため、景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような環境の中、当社グループは独自の精密貼合技術を活用した用途開拓に注力してまいりました。また、事業範囲の拡大にもチャレンジしながら、グループ企業の持ち味も生かした事業展開を試みております。しかしながら、車載関連、エレクトロニクス関連の製品が汎用品化、多国籍化する中で、商流の変化も目まぐるしい状況となっております。商流の変化の過程で、新たに中国企業が競合先となる等、受注環境は厳しい状況となっております。また、産業機器市場では、F A・工作機械等が中国市場の停滞や在庫調整の影響を受け調整局面が続いております。そのため、当社グループへの影響も避けられない状況となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高8,366百万円（前年同四半期比17.9%減）、営業利益71百万円（同89.2%減）、経常利益98百万円（同86.1%減）を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は184百万円（同62.7%減）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

#### 精密貼合及び高機能複合材部門

国内外におけるディスプレイ・タッチパネル市場は、引き続き各分野でデジタル化が進むことにより、市場規模は拡大基調となっております。センターインフォメーションディスプレイ、メータークラスターパネル、各種スイッチ類等自動車の電子化・ディスプレイ化は確実に進むことから市場は拡大する一方で、汎用品化も進み、新規参入企業の増加あるいは海外企業の参入等もあり、競争はより激しくなっております。このように市場が変化する中、当社は精密貼合技術により一層磨きを掛け、最先端生産設備の開発・導入による生産の高度化、あるいは新たな部材を用いた加工技術を高め、難易度の高い技術を求められる用途製品の受注・開発に取組みました。しかし足元では、国内自動車メーカーの生産状況等が想定を下回り、当社の受注状況が低調に推移いたしました。

この結果、売上高5,921百万円（前年同四半期比7.7%減）、営業利益13百万円（同91.0%減）となりました。

#### 環境住空間及びエンジニアリング部門

太陽電池の国内市場は、既存技術を用いたパネル市場を外国勢が席卷しており、国内メーカーにとっては厳しい状況が続いております。そのため当社グループも、コスト削減を進めながら、OEM供給を主軸として収益の安定化を図っております。また、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、ペロブスカイト太陽電池をはじめとする次世代太陽電池の社会実装への取組みについても研究開発を継続しております。エンジニアリング部門においては、連結子会社プレマテック株式会社での半導体液晶関連向け装置の受注がこれまで順調に推移しておりましたが、中国市場の停滞により需要が鈍化していることから、前年同期を下回っております。また、メカトロニクス技術を活用した省人化あるいは省エネルギー化設備の受注にも引き続き注力いたしましたが、足元での当社の受注は低調に推移いたしました。

この結果、売上高2,445百万円（前年同四半期比35.2%減）、営業利益48百万円（同90.5%減）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,784百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,600百万円の減少となりました。これは主に原材料及び貯蔵品の増加44百万円があったものの、現金及び預金の減少1,197百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少307百万円があったことによるものであります。固定資産は8,858百万円となり、前連結会計年度末に比べ192百万円の減少となりました。これは主に建設仮勘定の増加16百万円があったものの、建物の減少181百万円があったことによるものであります。

この結果、総資産は16,643百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,793百万円の減少となりました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は5,292百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,769百万円の減少となりました。これは主に製品保証引当金の増加5百万円があったものの、支払手形及び買掛金の減少596百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少523百万円があったことによるものであります。固定負債は1,404百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円の増加となりました。これは主に長期借入金の減少74百万円があったものの、退職給付に係る負債の増加2百万円等があったことによるものであります。

この結果、負債合計は6,697百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,745百万円の減少となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は9,945百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円の減少となりました。これは主に資本剰余金の増加78百万円があったものの、非支配株主持分の減少122百万円があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は59.8%（前連結会計年度末は53.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和6年5月15日に発表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しております「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,248,903	4,051,718
受取手形、売掛金及び契約資産	3,490,352	3,182,733
商品及び製品	14,718	13,458
仕掛品	569,892	381,746
原材料及び貯蔵品	317,900	362,225
その他	33,460	83,111
貸倒引当金	△289,769	△290,302
流動資産合計	9,385,459	7,784,690
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,586,635	3,404,962
土地	3,161,138	3,161,138
建設仮勘定	181,013	198,007
その他（純額）	890,077	880,636
有形固定資産合計	7,818,865	7,644,746
無形固定資産		
その他	4,196	6,445
無形固定資産合計	4,196	6,445
投資その他の資産		
投資有価証券	1,017,711	1,007,145
退職給付に係る資産	29,654	29,742
その他	183,723	173,300
貸倒引当金	△2,662	△2,662
投資その他の資産合計	1,228,426	1,207,526
固定資産合計	9,051,487	8,858,717
資産合計	18,436,947	16,643,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,749,308	1,152,547
短期借入金	2,800,000	2,650,000
1年内償還予定の社債	328,000	328,000
1年内返済予定の長期借入金	1,217,636	694,517
未払法人税等	334,591	1,661
賞与引当金	34,614	12,949
製品保証引当金	69,288	74,649
その他	528,409	378,405
流動負債合計	7,061,846	5,292,730
固定負債		
社債	32,000	18,000
長期借入金	1,170,051	1,095,793
退職給付に係る負債	45,904	48,270
その他	133,773	242,883
固定負債合計	1,381,728	1,404,946
負債合計	8,443,574	6,697,676
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,440,803	2,519,077
利益剰余金	6,217,553	6,230,667
自己株式	△863,930	△863,930
株主資本合計	9,794,434	9,885,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,476	59,908
その他の包括利益累計額合計	76,476	59,908
非支配株主持分	122,462	—
純資産合計	9,993,373	9,945,731
負債純資産合計	18,436,947	16,643,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
売上高	10,188,424	8,366,479
売上原価	8,742,374	7,382,436
売上総利益	1,446,050	984,042
販売費及び一般管理費	778,954	912,329
営業利益	667,095	71,713
営業外収益		
受取利息	3,845	4,344
受取配当金	10,306	13,824
為替差益	4,509	3,759
匿名組合投資利益	28,194	—
その他	10,489	22,681
営業外収益合計	57,344	44,609
営業外費用		
支払利息	8,700	14,587
その他	3,236	3,026
営業外費用合計	11,937	17,613
経常利益	712,503	98,709
特別利益		
固定資産売却益	13,122	1,272
債務免除益	—	240,013
特別利益合計	13,122	241,285
特別損失		
固定資産売却損	—	3,899
特別損失合計	—	3,899
税金等調整前四半期純利益	725,625	336,095
法人税、住民税及び事業税	171,249	22,722
法人税等調整額	57,304	127,997
法人税等合計	228,554	150,719
四半期純利益	497,071	185,375
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,782	812
親会社株主に帰属する四半期純利益	495,288	184,563

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
四半期純利益	497,071	185,375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,362	△16,568
その他の包括利益合計	20,362	△16,568
四半期包括利益	517,433	168,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	515,651	167,995
非支配株主に係る四半期包括利益	1,782	812

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 令和4年10月28日。以下「令和4年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、令和4年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 令和4年10月28日。以下「令和4年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、令和4年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	精密貼合及び高 機能複合材部門	環境住空間及び エンジニアリング 部門	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,416,747	3,771,677	10,188,424	—	10,188,424
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,048	—	2,048	△2,048	—
計	6,418,795	3,771,677	10,190,473	△2,048	10,188,424
セグメント利益	152,871	510,624	663,495	3,600	667,095

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去等によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	精密貼合及び高 機能複合材部門	環境住空間及び エンジニアリング 部門	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,921,105	2,445,373	8,366,479	—	8,366,479
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,310	103	2,413	△2,413	—
計	5,923,416	2,445,476	8,368,892	△2,413	8,366,479
セグメント利益	13,761	48,762	62,524	9,189	71,713

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去等によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
減価償却費	390,665千円	380,980千円